

科目名	特別支援教育・看護合同演習	担当教員	高木 歩実、安田 和夫、松本 和久、野村 香代、西田 倫子、永井 祐也、谷 浩一、遠藤 洋次、石田 寿子	
単位	1単位	講義区分	ナンバリング	NU4NIG103
期待される学修成果	地域理解・発展 地域貢献			
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク			
実務経験	教諭（講師含む）、看護師、養護教諭、臨床心理士、公認心理師			
実務経験を生かした授業内容	特別支援学校の教員、小児病棟の看護師、養護教諭、臨床心理士の経験をもとに授業展開する。			
到達目標及びテーマ	医療的ケアを必要とする子どもたちの健康上の問題を理解し、多職種の連携とそれぞれが果たす役割を理解する。1.教諭と看護師との連携について考察できる。2.特別支援学校に通う心身障害のある子どもたちの医療的ケアの意義について説明できる。3.医療的ケアの特定行為の手技について説明できる。			
授業の概要	医療を必要とする子どもたちに対して、教育現場で看護活動を行う看護師の現状を知る。子どもたちの健康のために、多職種（教諭と看護師）がどのような連携を行えばよいかを考える。重症心身障害児の具体的な健康障害を知り、演習を通じて特定行為について技術がわかる。またそれぞれの職種の立場で医療的ケアを必要とする子どもたちにはたす役割を考察する。			

授業計画	
第1回	特別支援学校における教育（松本）
第2回	特別支援学校における医療的ケア導入の歴史と背景（安田）
第3回	医療的ケアの教育的意義-自立活動とのかかわりから-（永井）
第4回	医療的ケアが必要な子どもたちの特徴と医療的ケア技術（高木）
第5回	特別支援学校における医療的ケアが必要な子どもへの関わり（高木）
第6回	医療的ケア技術演習①②事例に応じた援助計画（高木・石田・遠藤）
第7回	学外演習①②：岐阜市内の特別支援学校（全員）
第8回	学びのまとめ（全員）

事前学修	0.5時間	提示した課題に取り組む。技術演習や施設見学実習については、事前に配布した資料を熟読し、当日の演習、実習に備える。
事後学修	0.5時間	授業内容を整理する。見学実習については、記録を整理し、学内で学習したことを振り返り、考察を深める。
フィードバックの方法	課題レポートは個別または全体にコメントし、返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	100%	課題レポート、演習、見学実習レポートについて総合的に判断する。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料				